

宮銀最高益100億円

25年4～12月期 2期連続増収増益

宮崎銀行は13日、2025年4～12月期決算を発表した。売上高に当たる経常収益は前年同期比12・9%増の621億7300万円、経常利益は26・8%増の140億8700万円となり、第3四半期として2期連続の増収増益となった。貸出金利息や有価証券

金利息や有価証券利息配当金の増加が押し上げた。コア業務純益は31・7%増の168億6600万円だった。与信関連費用は5・1%増の21億3800万円。金利上昇に伴い、債券関係損益は43億3300万円のマイナスとなった。

貸出金の平均残高は個人、法人向け貸し出しの増加に伴い、3・2%増の2兆4130億円。預金の平均残高は0・6%増の3兆2214億円。自己資本比率は25年3月末比0・34%増の9・97%となった。

2026年3月期の業績予想について、経常収益を

2026年3月期の業績予想について、経常収益を

2026年3月期の業績予想について、経常収益を

2026年3月期の業績予想について、経常収益を

2026年3月期の業績予想について、経常収益を



2025年4～12月期決算を発表する杉田浩二頭取＝13日午後、宮崎市・宮崎銀行本店

90円と合わせて年間2000円となる。

太陽銀株式取得

今後も一身独立
統合意思を否定

宮崎銀行の杉田浩二頭取は、昨秋に明らかになった宮崎太陽銀行の株式取得について「今後も『一身独立』の姿勢でやっていく」とし、改めて経営統合の意思を否定した。13日の決算会見で記者の質問に答えた。

宮崎銀行は昨年11月、宮崎太陽銀行の普通株式を20万7100株取得したと発表。大量保有報告書によると、既に保有していた株と合わせて議決権比率は8・34%（昨年11月14日時点）となり、筆頭株主になった。

13日の会見で、杉田頭取は「（宮崎太陽銀行の）株式取得は地域金融システム

1株5株に分割 4月

宮崎銀行は13日、3月31日を基準日として1株を5株とする株式分割を実施すると発表した。株式投資の際に必要な金額を引き下げ、投資家が株式を購入しやすくなるのが狙い。効力発生日は4月1日。

市場における売買の最低投資単位は100株。13日の終値ベースで計算すると、同行の株式への最低投資額は現在の94万7千円から分割後は18万9400円に下がる。

（樋口由香）